



まきのほら

教育委員会だより

〈前面〉市内小学校 2 校が表彰されました
〈中面〉秋季大会の結果
全国学力学習状況調査について
〈後面〉わが校じまん（川崎小/萩間小）

いのちを守る教育！細江小学校が「静岡県地域防災活動知事褒賞」を受賞！！

このような取り組みが評価され、平成 26 年静岡県地域防災活動知事褒賞（学校の防災活動部）を受賞しました。

さらに、児童が地域で遊んでいるときに発災した場合に、地域のどこにいてもスムーズな避難ができるよう、春の遠足を高台避難地めぐり遠足に替えて実施しました。学校区にある病院、アパート、裏山などを縦割り班で回り、避難場所や危険個所の再確認を行いました。

また、登校中の発災を想定した避難訓練を、地域と連携して実施しました。児童は、発災すると、登校班の班長の指示で一番近い高台に避難し、避難後班長は同行した保護者代表に班員の安否報告をし、その後、保護者が地区の防災訓練に児童を引率するというものです。

細江小学校では、子どもの自己肯定感を高め、「思いやりとやさしさあふれる学校」を基盤としたスマイルハートな防災教育を実施してきました。いざというときにも「思いやりとやさしさ」を発揮し、避難できるようにするためにどうしたらよいか全学級で話し合ったり、学年のペアで高台避難訓練を実施して高学年の子が低学年の子を守る、低学年の子が高学年の子の指示に従うという避難時の意識を高めてきました。

思いやりとやさしさが命を救う



【ペアのお兄さんと一緒に訓練】



【登校時に地震が起きたら・・・？】



【予告なしの津波避難訓練】

萩間小学校が平成26年度学校保健文部科学大臣表彰を受賞しました！

また、萩間小学校では、リズム縄跳び、ソーラン、長縄跳びなどの運動を年間計画の中に位置づけて取り組んでおり、健康づくり・体力づくりにも力を入れています。

給食後の歯みがきの励行、歯科衛生士による正しいブラッシング方法の学習や、発達段階に沿った保健指導さらに、家庭での取り組みとして、カラーテスターと歯みがきチェックカードによる歯みがきへの意識づけなど、系統的な歯科保健活動を行いました。その結果、一年後には GO と診断された児童の割合を 8% にまで減らすことができました。

萩間小学校では、「自分や友だちの心と体を大切に育てる」を学校保健目標に掲げ、基本的生活習慣の定着を図るための取り組みを進めたことが評価され、文部科学大臣表彰に輝きました。これは学校保健の普及と向上に尽力し、多大の成果を上げた学校に贈られる賞で、今年度、全国 18 校のうちの 1 校に選ばれました。

萩間小学校では、平成 24 年度当初の歯科健診で、GO（軽い歯肉炎）と診断された児童が、全校割合で 36%、高学年では約 67% だったことから、その年から「歯みがきの習慣化」を意識づける取り組みを始めました。

萩間小学校の健康づくり



【みんなで歯磨き】



【学校保健委員会の取り組み】

秋季大会(新人戦)で日々の練習の成果を発揮

市内の中学生が部活動で活躍しています ※市立及び学校組合立中学校の優勝・2位を掲載

野球

「榛原地区大会」
2位 榛原中学校

ソフトテニス(男)

「榛原地区大会」
優勝 榛原中学校
2位 相良中学校

剣道(女)

「榛原地区大会」
優勝 相良中学校
2位 榛原中学校

ソフトテニス(女)

「榛原地区大会」
優勝 相良中学校
2位 榛原中学校

卓球(男)

「榛原地区大会」
優勝 相良中学校
2位 相良中学校

卓球(女)

「榛原地区大会」
優勝 相良中学校
2位 相良中学校

バスケボール(男)

「榛原地区大会」
優勝 榛原中学校

バスケボール(女)

「榛原地区大会」
2位 榛原中学校

サッカー

「榛原地区大会」
2位 榛原中学校

バレーボール(男)

「榛原地区大会」
優勝 榛原中学校

バレーボール(女)

「榛原地区大会」
優勝 榛原中学校

水泳

「小笠原地区大会」
(200m自由形)
(400m自由形)
2位 西原 悠真
(御前崎中)

陸上

「小笠原地区大会」
(共通走り幅跳び)
優勝 植田 真野
(御前崎中)

柔道

「榛原地区大会」
(個人男子)2年の部
優勝 中島 英彦
(榛原中)

水泳

「小笠原地区大会」
(200m自由形)
(400m自由形)
2位 西原 悠真
(御前崎中)

陸上

「小笠原地区大会」
(共通走り幅跳び)
優勝 植田 真野
(御前崎中)

柔道

「榛原地区大会」
(個人男子)2年の部
優勝 中島 英彦
(榛原中)

水泳

「小笠原地区大会」
(200m自由形)
(400m自由形)
2位 西原 悠真
(御前崎中)

リーフが「牧之原の子どもたちの学力・学習のようす」を配布しました!

平成26年度全国学力・学習状況調査結果より見えてきた子どもたちの課題とは? 【※平成26年4月22日に、全国一斉に実施されました。調査対象は小学6年生及び中学3年生です。】



全国学力・学習状況調査ってどんな調査なの?

子どもたちの学力や学習状況を把握・分析し、教育施策や指導の成果と課題を検証し、その改善を図る目的で行われました。

牧之原市の子どもたちの国語と算数・数学の結果は?

国語と算数・数学の教科調査の結果の概要は以下のとおりです。【表】牧之原市と全国(公立)の平均正答率の比較

小学校	国語A (15問)	ほぼ同じ	算数A (17問)	ほぼ同じ	算数B (13問)	0.5問程度低い
	国語B (10問)	ほぼ同じ	算数B (9問)	ほぼ同じ	算数A (36問)	算数B (15問)
中学校	国語A (32問)	ほぼ同じ	算数A (36問)	0.5問程度低い	算数B (15問)	ほぼ同じ
	国語B (9問)	ほぼ同じ	算数B (36問)	0.5問程度低い	算数A (15問)	ほぼ同じ

※A問題：知識に関する問 B問題：活用に関する問

質問紙調査からみる牧之原の子どもの特徴は?

- ◎地域の行事に参加している子どもが多くなっています。
- ◎学校が楽しいと感じている子どもが多くなっています。
- ◎復習をするなど、家庭学習を頑張りはじめた子どもが多くなっています。
- ◇読書や新聞を読む習慣が身についている子どもが多くなっています。
- ◇テレビやゲーム、スマートフォンに時間を費やす子どもが多くなっています。

なぜ、牧之原市は、調査結果を数値で公表しないの?

本来、この調査の目的は、子ども個々の学力や学習状況を把握し、それを踏まえて学校が学習指導の充実や学習環境の改善を図ることにあります。数値を公表することで、市内各学校の序列化や過度な競争を招く心配があり、また、市内の学校は学校規模が様々であるため、学校によっては個人が特定されてしまうという心配もあります。

以上のことから、数値を公表することは、調査本来の趣旨から外れてしまうと考えます。また、子どもたちの学習意欲の向上につながると思えません。よって、牧之原市は、結果を数値ではなく、全国の平均正答率との比較を「ことば」で公表することにしました。

詳しい内容はリーフレットをご覧ください

小学5、6年生、中学1、2、3年生の保護者に配布したほか、市役所にも置いてあります。また、市のホームページからも見ることができまので、ぜひご覧ください。



(学校教育課:52-2645)



◎教育委員が任命されました◎

牧之原市教育委員会では、澤田衛委員が11月15日に任期満了となりましたが、再任をされ平成30年11月15日まで継続となりました。また、故鈴木弘子委員の後任として、新たに榊林裕子氏が任命されました。

牧之原市菊川市学校組合立教育委員会では、前委員長の森順子氏が9月30日に任期満了となり、新たに教育委員として近江賢氏が任命されました。

重田氏が就任されました。12月9日現在の教育委員の構成は、右のとおりです (教育総務課:53-2642)

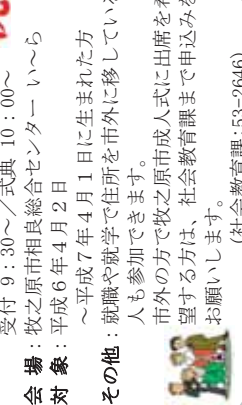
委員長	大石幸雄	学校組合立教育委員会	林 重由
委員長	澤田 衛	教育委員会	立花優子
職務代理者	吉住幸子	教育委員会	西井敏明
委員	榊林裕子(新)	教育委員会	近江賢市(新)
委員	坪池 洋	教育委員会	坪池 洋

インフォメーション

平成27年 牧之原市成人式の御案内

日時：平成27年1月11日(日)
受付 9:30~ / 式典 10:00~
会場：牧之原市相良総合センター いへら
対象：平成6年4月2日~平成7年4月1日に生まれた方
その他：就職や就学で住所を市外に移している人も参加できます。市外の方で牧之原市成人式に出席を希望する方は、社会教育課まで申込みをお願いします。

祝



(社会教育課:53-2646)

「なつかしの写真展」が開催されました

平成26年度牧之原市史料館特別展

牧之原市は来年10月に合併10周年を迎えます。明治・大正・昭和という激動の時代をどのように乗り越えてきたのか。それぞれの時代を代表する風景や町並み、建物などの写真をパネルにして展示しました。



【多くの写真が展示されました】

【現在のようす】

(社会教育課:52-2646)



わが校・わが園しまん

市内の小・中学校、幼稚園・保育園の『しまん』を毎号、紹介していきます。お楽しみに！



【学びを楽しむ子どもたち】



【心を合わせて歌おう】

川崎小学校 【川崎小学校の自慢は、「あいさつ」「歌声」「授業」です。】

川崎小学校の自慢は、「あいさつ」「歌声」「授業」です。

「あいさつ」は、朝夕のあいさつだけでなく、「おいしいあさごはん」を合い言葉に、「ありがとう」「ごめんなさい」などのあいさつもできるように取り組んでいます。

「歌声」は、年間6回の歌声集会を行っています。集会では、各学年の発表と全校合唱を行い、きれいな歌声が川崎小の文化として継承されています。

「授業」は、「かかわりを通して『学びを楽しむ子ども』の育成」を研修テーマとして、「教材の本質の追究」と「かかわりの質の向

上」を2本柱にして研修を進め、去る11月28日に市指定研究発表会を行いました。

「かかわりの質の向上」では、「相手のことを思った聴き方」「相手を意識したやさしい話し方」「気持ちを伝える書き方」などを視点とし、研究を重ねています。また、「教材の本質の追究」においては、「単元構想の工夫と付けたい力の明確化」を視点とし、研修を重ねてきました。

こうした取組により、これからも「笑顔がいっぱい」あふれる川崎小学校にしていきたいと思えます。

萩間小学校

【子どもたちにとっての「学びのふるさと」

地域や保護者の皆様にとっての、「おらが学校」】

萩間小学校は、伝統を大切に受け継ぎながら、子どもたちの健やかな成長を育てている学校です。今年度、本校は、二つの大きな賞をいただきました。どちらも本校の伝統として受け継がれてきた活動に関する受賞でした。

一つは昭和45年から続けているFBC花壇で『環境大臣賞』をいただきました。今回は秋花壇での受賞でしたが、本校は委員会の子どもたちを中心に全校の子どもたちが関わって花壇の世話をしています。もう一つは、同紙面にある学校保健及び学校安全で『文部科学大臣表彰』をいただきました。

また、本校の伝統の一つとして、平成5年度から続いている萩間伝説劇場が挙げられます。これは、各学年で地域の民話や昔話等を工夫した劇にして披露します。当日は、来賓や子どもたちの家族、地域の方等、約200名余りの方が観劇に来校され、盛況のうちに終わることができました。このように、伝統を大切に守り育てながら、子どもたちにとっての「学びのふるさと」、地域や保護者の皆様にとっても、「おらが学校」と感じられる教育活動を推進しています。



【萩間伝説劇場】



【小学校の見事な花壇！】

〈編集後記〉

今号では、「平成26年度全国学力・学習状況調査」についての記事を掲載させていただきました。よくマスコミでは「全国学力テスト」などと呼ばれたりしますが、あくまで“調査”です。その結果から子どもたちの状況を把握し、子どもたちにとってのよりよい教育施策につなげていくことが本来の目的です。わが県でも特に昨年より話題になることの多い調査ですが、私たち大人は、その本来の目的・趣旨をしっかり把握していきたいですね。

★ご意見・ご感想はこちらまでお寄せください

編集 / 発行 教育委員会だより編集委員会
電話：53-2642 FAX：53-2657

〒421-0592 牧之原市相良 275

E-mail：kyoiku@city.makinohara.shizuoka.jp

～ 祝日には国旗を揚げましょう ～